





晴

れ着に身を包み、今年20歳を迎えた53人が「第4回はたちの記念式典」に参加しました。

式典で式辞に立った高橋幸一郎村長は「社会の一員として大人の仲間

入りをされ、大きな義務と責任を負っています。改めてその自覚をしっかりと心に刻み、これから的人生を歩んでいただきたいと思います。そして人との絆を大切にし相手を思いやる心を忘れず、いつでも手を差し伸べることができる勇気と優しさを持った大人へと成長されることを願っております」とエールを送りました。

また参加者を代表して川端爽良さんと星野美空さんが青春メッセージを述べ、決意を新たにしました。

式典後は、友人や駆けつけた中学時代の恩師との再会を祝う記念懇談会が行われました。中学時代の恩師からは、お祝いのメッセージが贈られたほか、当時の思い出話に花を咲かせました。また、企画運営委員によつて催された景品抽選会では、発表される数字に参加者たちは一喜一憂していました。

旧友との再会に懐かしさを感じながら、思い出話に花を咲かせ、会場は温かい雰囲気に包まれていました。

あきらめず歩み続ける 青春メッセージ

星野美空さん

私は現在、教育学部で日々勉強に励んでいます。私たちは将来に向け学びを深めている人、社会に出て日々の仕事に向き合っている人、自分の進む道を模索している人など、それぞれが異なる立場にあります。しかし道に立ついても、一人一人が社会の一員として責任を持ち、自らの未来を切り開こうと歩み続けていることに変わりはありません。これから的人生では、きっと思うようにいかないことや大きな壁にぶつかることもあります。私自身これまで何度もつまずきましたが、周りの支えによって立ち上がる事が出来ました。上手くいかないことも含めて人生であり、何より大切なのはあきらめないことです。

そして、一度立ち止まつて周囲を見渡せば、私たちを信じ、支えてくれる人が必ずそばにいることに気付きます。そのことを胸に刻み、これから的人生を力強く歩んでいきたいと思います。



昭和村の20歳を迎えた方々

対象年代▶平成17年度生まれ

該当者数▶57人

参加者数▶53人

行政区順(敬称略)

▶永井上…諸田涼馬、八木健斗
▶入原下…堤丈治、堤嵩晴、堤あ
やか ▶藤井…鈴木旋瑠 ▶宮貝
戸…石井仁、増田快哩、石坂梨奈、
竹内万里菜 ▶根岸…中嶋梢
▶鎌沢…廣橋杏馬、綿貫心大、
七五三木蘭、綿貫花音 ▶森下上
…田中大翔 ▶森下中…見城心聖、
水落多恵 ▶森下下…真下美優
▶三ツ谷…新木与元、加藤彪雅、
鈴木咲太、田村充喜、吉野愛叶
▶桜久保北…金井由美 ▶吹張…
鈴木翔也、松井月葉 ▶宿…加藤
智貴、川端爽良、川端真夢 ▶中
宿…野田虎敏 ▶中内出…加藤惠
理香、山後愛夢 ▶滝寺…飯塚亮
太 ▶南内出…石井音々葉 ▶田
岸…宮田翼 ▶大堀…櫻澤るる、
鈴木溜奈 ▶生越…林流冬 ▶中
野上…阿部峻介、阿部岳琉、中村
恒太、星野陽向 ▶長者久保…松
井楓夏 ▶大河原…星野美空
▶追分…岡田光貴、高橋壮哉、
SITI SILVIANI ▶赤谷…後藤雄
紀、高柳祥弘、金崎朱利 ▶赤城
原第1…南雲栄志 ▶赤城原第2
…中村駿汰、高橋暖姫 ▶村外…
後藤仁、高橋侑希、新井優奈



そんな時こそこう考えてほしいと思
います。「これだから人生は面白い」何
もないただれーるが敷かれたような平
坦な人生は何も面白くない。数々の試
練や困難を乗り越え、成功を経験する
からこそ、毎日が光り輝くのです。
一度きりの人生、悔いの無いよう全
力で過ごし、何不自由なく、やりたい
ように生きることが今まで支えてくれ
た方々への最大の恩返しです。

高校三年生の夏、全国高等学校野球
選手権群馬大会決勝で本日この場にも
参列しているライバル兼大親友と戦え
たことは何かの運命か、この昭和村で
過ごした時間があつたからこそだと思います。
人生100年時代といわれる中、まだわ
ずか20年、五分の一しか過ごしていま
せん。これから先の人生、果てしなく
大きな壁にぶつかったり、また人生を
大きく変える転機が訪れたり、はたま
た人生のどん底に落ちるかもしれません
ん。

青春メッセージ
川端爽良さん